

令和3年度第1回高知県環境審議会自然環境部会

日時：令和3年8月2日（月）13：30～15：30

場所：高知会館3階 「飛鳥」

出席者委員：石川委員（部会長）、佐藤委員（副部会長）、時久委員、濱田委員、細川委員、高橋委員、岩内委員、吉澤委員、岩瀬専門委員、三谷専門委員、竹内専門委員

事務局：林業振興・環境部副部長（統括）、自然共生課長、自然共生課 課長補佐、自然共生課関係者

1、開会

- ・ 県林業振興・環境部豊永副部長から挨拶
- ・ 出席委員、事務局の紹介
- ・ 審議の内容は、県で定める「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、ホームページで公開する。

2、会議記録署名委員の指名

- ・ 会議記録署名委員については、細川委員、吉澤委員が部会長から指名された。

3、議事

議題「生物多様性こうち戦略【改訂版】の行動計画の取組状況と成果について」について、事務局から資料1、2、3、4に基づき説明。

～説明を終えて、質疑応答～

石川部会長

毎年のことながら、生物多様性の問題は間口が広く、全体を取りまとめるのは大変だったのではないかと思います。ご質問、ご意見がある方からお願いします。

高橋委員

県の猟友会に関係する部分がありました。シカの捕獲では毎年、県の事業と国の事業で、三嶺でのシカの捕獲を実施しています。雪が降る非常に寒い中、三嶺の現場に行くのには3、4時間かかりました。わなを仕掛けると見回りに行かなければならないので、チームを組んで行っています。環境の厳しい中での捕獲事業ですので、思ったほど捕獲ができなかったり、意外によく捕れたり、この報告の中で述べさせていただきました。

今日の説明の中には無かったようですが、カワウの食害についても、生物多様性の取組の中に入るのではないかと思います。カワウの食害は、どこの河川でも被害が出ています。かなりの資金を入れて鮎を放流してますので、カワウの食害についても取り上げるべきではないかと思います。

事務局（松尾課長）

現在の行動計画の中に、カワウの食害についての項目はございません。事務局では詳しいことが分かりませんので、ご意見があったことを関係課に伝えまして、来年度に反映できるかどうか、検討させていただきます。

佐藤委員

カワウに関しては、高知県のみで取り組んでも難しいと考えられます。かなり広域を移動して、近畿地方、琵琶湖を中心とした繁殖地で夏に繁殖して、冬に越冬地へ移動する。四国沿岸が越冬地としてよく利用されている状況です。したがって、県内では夏より冬のほうが生息数が多く、その期間中に鮎も含めていろんな魚を食べるという習性を持っています。県内でも何か所か繁殖しているコロニーがありますので、広域でいかにうまく折り合いをつけて管理していくかが重要となります。

関西地区では、幾つかの府県が共同で保護管理計画を立てていて、徳島県や香川県も連携してやっています。そういったところと連携を取って、管理計画を立てていくことが重要ではないかと考えます。高知県では鳥獣対策課が担当されてますので、話し合いを重ねて、管理計画を立てていくように考えていただければと思います。

石川部会長

他にいかがでしょうか。岩内委員。

岩内委員

13ページの27番。自然環境の保全と回復を図るところです。水源確保の問題について、県内の水源を県がきちんと確保しているのか、土地の管理はどうなっているのか、すごく問題視されています。数年前から言われているので、現状をお聞きしたい。

それから、27ページ62番の固有外来種の保護についてです。遺伝資源の保存等の推進について、ここ数年で、種苗法や種子法などの改定や廃止等が決まり、私の周りでも心配する声が上がっていますので、行動計画にこのような取組を書いていただくことは、心強く感じています。以前、県議から種苗法の条例化が進んでいるという話をお聞きしましたが、このことについての詳細をお聞きしたいです。また、遺伝資源の保存に関して、ナス以外についての新しい計画、アクションがあればお聞きしたいです。

事務局（松尾課長）

27番の資源の確保につきましては、県下で国有林が3割ぐらいあり、その他は民有林となっています。国有林を持つ林野庁と民有林を管理している県で、間伐を中心に、山の保水力を高めることと同時に、治山工事で崩壊などを防ぎながら基盤整備を行うことで、広域的にはなりますが、全体として水の確保を図っている状況です。

62番の遺伝資源の保存につきましては、どういう取組が進んでいるのかを担当課に確認し、後日ご報告させていただきます。

石川部会長

他には。岩瀬委員。

岩瀬委員

県の文化環境評価システムによって環境への配慮をしていくと、行動計画のあちこちに書かれているが、具体的にどういうことが指摘され、どう改善されたかが分からないのはよろしくない。もちろん工事に関わることなので、全て開示できることではないと思うが、何とか分かるような形にできないのかと強く思いました。

グリーン購入法の問題について、努力目標ではなく義務化するような方向性を選ぶ必要があると思います。環境省などは、エコマークの付いた用紙を使わないと報告書が提出できないような事業も数多くあります。そこまで厳しくするかはともかく、やはりある程度義務化をしていただけたらと思います。

事務局（松尾課長）

文化環境評価システムにつきましては、1億円以上の大きな工事を行う場合に、どのような工法で実施するのか、それが環境にどう影響するのかという計画を立て、実施した後にその評価を行うようになっています。事例が幾つかあり、全部ではないがホームページに載せるようにしているので、これからもできる限り、事例をホームページ等で紹介していきたいと考えています。

グリーン購入の義務化につきましては、ご意見があったことを関係課にお伝えします。

石川部会長

他にいかがでしょうか。

竹内委員

山が荒れると海も荒れる。川の護岸がきちんとされてないと海まで荒れる。大雨が降るたびに大量の流木等が流れてきて、チリメンジャコが捕れなくなる等、そういったことが大雨ごとに起きている。山、里、川、海がつながっているという視点もあったほうがよい

のではないか。

あと1点、最近問題になってる違法投棄、埋立てについて。県内の谷に、違法投棄や土砂などを埋め立てたままにして、業者が潰れたという“やり逃げ倒産”で、現状回復されないままという事例が昔からある。これも生物多様性に繋がることなので、今の高知県ではどうなのか、把握はしているのか。

事務局（松尾課長）

7月の熱海の被害を受けて、国から不法投棄や違法な盛土等の調査があるのではないかと、県では土木部が取りまとめをするという動きがありますが、事務局としては把握はしておりません。調査の結果については公表されると思いますが、この部会での報告となると1年後になりますので、機会をみながら、事務局としてもそういった情報を収集していきたいと思います。

高橋委員

この資料について、少し下地が黒いところはカラーのページなのか。この資料は白黒で作ってるのか。

事務局（松尾課長）

重点項目をグレーにして、その部分だけを説明させていただいたという資料になります。

高橋委員

これは提案ですが、それぞれの分野が多岐にわたっていて、なかなか理解しづらい部分がある。環境省の自然環境部会にも出席しているが、資料に手をかけて、カラー印刷でポイントを分かりやすく整理している。猟友会の会長としてこの資料を見て、いい情報がたくさんある。猟友会の会議でも報告したいので、もう少し理解しやすいようにポイントであったり、字を大きくしたり、カラーにしてみたり、せっかくこういった部会に出すのであれば、もう少しお金もかけて、この資料がそれぞれの立場で利用できるように工夫してみたらどうか。

事務局（豊永副部長）

おっしゃるとおり実務的に作ったような資料ですので、概要的なポイントが分かるような資料が必要だと思います。次回に向けて、皆さんが団体等で説明しやすいものを作っていくよう検討していきます。

石川部会長

資料2の取組目標の進捗状況も当初はありませんでした。経年変化、進捗状況、達成率

が出来てきてから各目標が分かるようになって、これだけでも随分進歩したと思います。

今のご提案も、確かに専門の違う分野のところは難しいところもありますので、その辺をご検討いただけると有り難いです。他にいかがでしょうか。

細川委員

外来種について、このパンフレットを初めて見たのですが、これはいつどういう機関に配るのでしょうか。外来種について知らない方がたくさんいる。オオキンケイギクを知らない方もまだまだいる。このパンフレットにいろんな外来種が出てるが、一般の人に知られていないのが現状です。私たちも関わっていかないといけないと思うが、どういうふうにアナウンスして広げていくのか。

事務局（松尾課長）

高知県で注目すべき外来種というパンフレットを昨年度作成し、配布は遅くなりましたが、7月中に関係機関に送付しました。普及啓発については、これからという段階ですが、現在、牧野植物園で開催している企画展「つなげ！高知の少ない生きものたち」の中でも展示をしています。こういったことを皮切りに、県下で普及啓発を図る必要があると考えています。一般向けについては、例えば、えこらぼの活動でたくさんの方が訪れる環境見本市や環境博覧会など、いろいろな機会を捉えてこのパンフレットをできる限り普及啓発に活用していきたいと考えています。

一般の方だけでなく、市町村職員の方にも知っていただく必要がありますので、今年度中に行政向けの勉強会を考えています。また、市町村のロビーなどをお借りして展示をしたり、外来種だけではなく希少野生動植物の展示をしたりして、一般の方に見ていただくことも考えています。

細川委員

学校関係はどうですか。子どもたちにきちんと説明していくことが大事だと思います。やはり身近な植物を知ることが一番大事ですので、教育関係と連携して広めていただきたいと思いますが、石川先生。

石川部会長

環境省では、総合対策外来種の中でも、緊急対策外来種、重点対策外来種と優先順位を付けています。高知県ではまだやっていませんが、将来的にランク付けをして、選別をしていく必要があると思います。それと同時に、普及のために使える外来種があります。県では今、オオハンゴンソウやオオキンケイギクを一生懸命やられてますよね。普及をしやすい、ボランティアに参加してもらいやすい外来種をターゲットにして、委員からの情報を得ながらやってみてはどうでしょうか。

事務局（松尾課長）

説明が抜かっていましたが、このパンフレットを作るきっかけは、令和2年7月に外来種のカテゴリー分けをしたことです。まず緊急的に防除が必要な外来種。それから重点啓発外来種という定着が確認されてないが将来的には防除が必要な外来種。それからアライグマのように、まだ本県には入ってないが注意が必要な外来種。それから竹林など産業で活用できるけど、適正な管理が行われなためにとんどんはびこってしまい、在来種を駆逐してしまうような外来種。そのような四つのカテゴリーに分類して、全部で255選定をしています。その普及啓発を図るためにパンフレットを作成し、緊急に対策が必要な外来種を中心に事例を紹介しています。

細川委員

一般の方に普及するには、このパンフレットでは全然分かりません。はっきり言ってこれでは判断がつかないと思います。緊急性のあるものは、こんな小さなこんなコスモスだか何だか分からないようなものを見せられても、これを見て駆除しようとはならないので、もう少しインパクトのあるパンフレットを作成しないと無理ではないかと思いますが、どうでしょうか。

事務局（松尾課長）

1冊にまとめるために、また予算の関係もあり、こういった小さい形で作成しました。オオキンケイギクについては、3、4年ぐらい前に作成したパンフレットがあります。また、環境省がA4判で1つの種類に1つ、その特徴や繁殖する季節、防除対策などをまとめたパンフレットを作成しています。普及啓発には、このパンフレットにプラスして、個別の種の対策のパンフレットを並べて普及していく形を取りたいと考えています。

石川部会長

オオキンケイギクの立派な分かりやすいパンフレットは、私も見せてもらいました。

カテゴライズされているのは分かりますが、その中での優先順位が重要になるかと思えます。その辺りの順位の付け方というのを少し検討していただきたい。

事務局（松尾課長）

優先順位としましては、掲載している8種類。他にもあるとは思いますが、環境省で特定外来生物として指定されたものと、県で重点対策外来種のカテゴリーの一番高いところで選定した外来種を中心に掲載しています。しかし、どれが優先順位が一番高いかというところはまだありません。

石川部会長

分かりました。パンフレットの後ろに掲載しているピンクのところの8種類をまず取り上げたいということですね。

他の省庁との連携どうですか。例えば、オオキンケイギクは河川敷に生えます。二級河川の場合は県が管轄してるので駆除できますが、一級河川の場合は国交省との連携が必要になってくるかと思います。おそらく、県が管轄してるほうが上流にあるので、上のほうを採らないと、下のほうで幾ら頑張ってもなかなか根絶できない。そういう意味では、この連続性のある生態系の場合には、それぞれの管轄の部署との連携が必要になると思いますので、よろしく願いいたします。

他にいかがでしょう。

細川委員

ソウシチョウやヒゲガビチョウがすごく増えてきました。甫喜ヶ峰で観察会をしていて、捕獲を試みましたが1羽も捕獲できません。ソウシチョウがどっさり鳴いている。どうやって防除していくか、計画はありますか。

佐藤委員

本来、答える立場ではないですが、鳥類を専門にしていますのでコメントします。

外来生物のうち、ソウシチョウ、ヒゲガビチョウは中国大陸原産の種類で、ソウシチョウは東北北部と北海道を除くほぼ全国に広がっています。ヒゲガビチョウは四国限定なんですけど、かなり増えています。防除の対象となりますが、直接的に人間の生活や産業に被害が及ばないことから、優先順位が低く見られがちです。

ソウシチョウに関しては、NPOの四国自然史科学研究センターが防除計画を立てていて、環境省の中国四国環境事務所にも認められて努力していますが、捕獲する技術がまだ足りておらず、誘引して捕獲しようとしても、うまくおびき寄せることができない状況です。比較的有効なやり方は、山の中で巣を探して偽卵と置き換えるやり方です。しかし、高知県の急傾斜な山岳で鳥の巣を探すことは、かなりの努力が必要で、なかなか上手くいっていないのが実情です。また、見込みのある1つの方法として、かすみ網を使ってソウシチョウの親鳥を捕まえるやり方があるのですが、そのやり方は環境省としては認められないとのことでした。かすみ網は目的としている鳥だけではなく、混獲で在来種もたくさん捕まえてしまうからです。研究機関としても、協力してうまく防除する技術を開発しなければなりません。ということで現状は、防除の努力は一応しているけれども、うまく進んでいないというのが実情です。

石川部会長

他にいかがですか。

時久委員

市役所や他の関係課との話になりますが、結論から言うと、担当者や関係者に研修をして、本気で活動してくれる人や中心となる人材を育成していくことが必要だと思います。例えば、私は早くから教育委員会を受け持っていたので、教育委員会から人材育成をしていました。けれども教育委員会だけはいけないので、環境課や、商業観光課に、「こんなことしたいのですが、一緒にやりませんか」などと言いながら、一緒にやってくれる人材を起こしていく。燃えてくるものが欲しいなど。しかし、どの教育委員会も積極的に活動しているかという、そうでもない。教育委員会によってすごい温度差がある。

課を超えて大変難しいですけど、とにかく勢いのある、これが大事だとか絶対頑張っやらないかんという人材を育成していく。アドバイザーや指導員もそうですが、少しでも本気になってくれるような人材を起こしていくことが、地道で歩みが遅いんですけど、それをしないと、だんだん高齢化して人材がいなくなっていったりするの、大きな今の課題だと思います。

外来種のパンフレットにしても、冊子そのものはすごくいいんです。この冊子を置いて、興味のある人が持っていくのはいいんですけど、これを配布した時に、そのままごみ箱行きということが結構あるんです。きちんと説明して、意味を理解させて持って帰さないといけない。そのような意味でも一声掛けると、そういう気持ちになってくる。オオキンケイギクの真っ黄色な花を一面に出したパンフレットを配ってくれた学校もあります。子どもたちが「きれい」と言うので、外来種であることの説明をしたら、「ええ、そうなんだ」みたいなことになる。

課題が大きくて一言では言い切れませんが、要は環境のことにすごく興味を持ってくれて、課題を含めて、人に伝えていくことができる人材を増やしていきたいです。

石川部会長

知る、広めるという意味が学校の教育現場ですごく大事で、今の時久先生の話でよく分りますが、県として、そこにどういうふうに切り込んでいけるか、重要だと思います。リーダー制度がありますけど、それとは別のまた施策が欲しいということですね。少し難しい問題ですけど。

時久委員

学校の関係では、2ページの学校教育で取り組んでる記載のとおりですし、また、国の学習指導要領に基づいて取り組んでいるので、環境教育そのものは、一定のレベルまで子どもたちは学んでいきます。それにプラスして、もっと興味・関心を持って学習していく子どもたちを育てていきたいという立場では、先ほどのような課題が大きいので、いろんな工夫が必要ではあります。

石川部会長

はい、どうもありがとうございます。
いかがでしょうか。大変なことですけど。

事務局（豊永副部長）

おっしゃることは全くそのとおりで、興味がない方に冊子だけ渡しても、なかなか読んではくれないし、全然見てくれない。手に取ってくれないこともあります。先ほど言われたように、学校現場で先生方が説明していただければいいのですが、先生方もみんながみんな興味があるわけではなく、いろいろな業務をやられている中の1つということになりますので、厳しいかと思えます。

普及啓発をする中で、一定の興味を持っておられる方や、子どもたちが集まって環境を勉強する場で、指導者や推進リーダーの方々に、しっかりお示しをできるような形を作っていくことが、地道ではありますけれども、広がっていく可能性は大きいのではないかと考えています。

石川部会長

はい、どうもありがとうございます。
吉澤委員、いかがでしょう。

吉澤委員

私が高知に来たときには、ソウシチョウと全然遭わなかったのに、ここ数年で防除の対象になったので、時代が変わったなと思っています。希少野生動物に会いたくても、もともと数が少ないですし、生息地を一般の方にばらすわけにはいかないなので、どうしても目にすることはできない。この外来種に関しては、生息場所で撲滅イベントのようなことができるのではないかとお話を聞いていて思いました。そういうことが何か楽しく、生物多様性などを勉強できる場にしていくのもいいのではと思いました。

石川部会長

はい、どうもありがとうございます。
希少種に関しては、いろいろ調査をされてますので、希少種に関して。

吉澤委員

わんぱく自体が外来種ばかり人工的に作っているんで、アカミミガメは数がすごい多いですし、ブルーギルも山ほどおります。カダヤシも指定される前は餌としてよく捕獲していました。今は動かさないんで、見ているだけなんですけれども。そういうことで、企画展などで紹介はするんですけども、その先の話ができないので、もう少し勉強して市

民の方に啓発できるような場を作れたらなと思っています。

石川部会長

他に。いかがでしょう。

岩内委員

外来種の普及について、公民館の講座などに潜り込ませることはできないでしょうか。公民館でよく地域の人を呼んで、健康講座や百日体操をやっていますが、そこにこういった講座があれば、よく聞いてくださると思うし、やっぱり一番土に触れている方々なので、分かればどんどん駆除をしてくれるのではと思いました。このパンフレットを見ると、シチヘンゲはうちの畑にありますし、セイタカアワダチソウも河原に生えてます。駆除の対象や方法が分かれば、駆除をする張りにもなるので、そういう働き掛けができると良いと思います。分からないままだと、きれいな花だから残しておこうとなりますので。

事務局（松尾課長）

オオキンケイギクは比較的分かりやすく、我々の町内会でも、今年はコロナで一斉清掃が中止となりましたが、その前は、一斉清掃できれいになるんですけど、オオキンケイギクだけ残ってるというような状況も見受けられました。

今年予定しています市町村に対する外来種の勉強会で、例えば、町内会の清掃のときに地域の総会があって、総会の案内を班長から伝えていくときに、オオキンケイギクのパンフレットなどを配布して、こういうのがあれば積極的に駆除してくださいという案内をすれば、皆さんに知っていただくこともできますし、現場で駆除することもできるので、そういった提案も考えています。

石川部会長

はい、ありがとうございます。

岩瀬委員

私の家の裏庭には、イリオモテアサガオが一杯ありますが、外来種をどうやって駆除すればいいのかが分からない人がたくさんいると思います。この間も竜串で、アメリカネナシカズラがすごいびこっていて、細川さんにいろいろお話を伺ったんですが、今のところどうすればいいかよく分かっていません。

全部の種類について、こうやって駆除してくださいと示すことは難しいと思いますが、この資料にたどり着けるリンクが、ホームページなどにあればいいと思います。オオキンケイギクの駆除について言うと、花が咲いてもう実になりかかっているものが、切られてそのまま置かれていたりする。草捨て場に持って行って、余計に繁殖するなんてことが起

きてしまう。正しい駆除の方法が分かるような形ができればと思います。

事務局（松尾課長）

駆除をする方法がすごく重要になってきますので、地道な取組になるかと思いますが、パンフレットにも記載しています駆除の方法を、いかに正確に伝えて、現場で正しく駆除してもらおうかだと思います。

オオキンケイギクについては、市町村の職員に対する研修会を実施するというところで、町内会を通じて提案しようと考えています。他の外来種についても、市町村によって実情が違い、地域で外来種の繁殖が旺盛で困っているところなど、住民の方の取組では難しい部分も出てくると思います。そういったところは予算が必要になりますので、お願いベースにはなりますが、アレチウリなどが繁殖しているところがあれば、そこは市町村自体に対応していただくような形がいいのではと。普及啓発も何らかの形で絡ませて実施していくことが一番いいのではないかと思います。

細川委員

オオキンケイギクについては、どうしようもないぐらい一杯になっていて、もう土手一面にです。清水へ行くと国道沿いにびっしりです。それを駆除すると言っても、どういう手立てがあるのか。一面になってるって現状を見ていただかないと、どうしようもない。

オオキンケイギクを調べていたとき、津野町には入っていませんでした。だから、そういったところに絶対入れない。もう一杯生えているところはどうしようもないが、錦山や蛇紋岩地は、ぼつぼつ生えてきてる。そういったところは重点的集中的に駆除していくとか、植物の在来の貴重なものがあるところに生えてきたものは、アレチウリもナルトサワギクも駆除しています。そういった大事なところ、守っていかなければいけないところを中心に、駆除計画を具体的に立てていく必要があると思います。意外に思ったのは、東津野や天狗高原にはオオキンケイギクは生えてませんでした。そういったところには絶対入れないようにお願いします。

石川部会長

今のご発言も大変重要で、守るべきところには絶対入れないという、そのゾーニングというようなところもピックアップして、ターゲットを絞っていただければと思います。

他にご意見がなければ、この審議を終わりにしたいと思います。よろしいですか。

はい、どうも長い間ご苦勞様でした。ありがとうございました。

4、閉会